

市老連だより

会員増強へ 格段の取り組みを



会長 森 武

異常な暑さの中、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。日頃より、市老連の事業展開、活動には格段のご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、市老連の会員状況についてですが、各クラブの会長の後継者がいない、新たな会員が入ってこない、また社会的な要因等々の事情により会員の減少傾向が続いております。

また、昨年は3クラブが会の解散を余儀なくされ、クラブ数は29クラブとなりました。当然ながら総会員数もピーク時に比べ約半数となっておりま。この状況は、全国的に見ても全く同様なものがあります。

こうした中にあっても、当市老連では、単位クラブの会長・役員

の方を中心に、会員獲得活動を展開していただいていることは十分承知しております。

本部としても会員増強のための環境整備の一環として、特に広報活動を強化し、皆様の活動状況を広く対象層に訴える努力をしてまいりました。

さらにその活動自身の意義を高め、存続させていくことは、我々の使命でもあります。さらには後に続く方々にもより豊かな老後を過ごしていただけるものと確信している次第であります。

今後とも事業内容の充実と見直しを行い、入ってみたいと思っただけのような魅力ある会の活動を展開してまいります。

会員の皆様お一人お一人が、ご近所の方・お友達の方に、ひと声かけてみていただくことが大きな力になると信じております。

必ずや「老人会はどんな活動をしているのかな? 一度行事や活動に体験参加してみようかな...」と思っっている方がおられます。会員全員での新規入会者促進活動に力をお貸しくださいますよう心からお願いを申し上げます。

“顔なじみ”の
人の輪を広げよう

わが街の知られざる 史跡・景観

市内には、旅人でにぎわった矢倉沢往還や大山街道に沿って多くの史跡があり、当時をしのべます。

街道が交わる咳止め地蔵

このあたりは、昔、渋田川を堰き止めて流れを変え、新田を開いた場所です。この「堰止め」が橋の名となり、いつしか病気の咳を止める「咳止め」となり、辻の地蔵尊が咳止めの仏さまと崇められるようになりました。



このあたりは、昔、渋田川を堰き止めて流れを変え、新田を開いた場所です。この「堰止め」が橋の名となり、いつしか病気の咳を止める「咳止め」となり、辻の地蔵尊が咳止めの仏さまと崇められるようになりました。

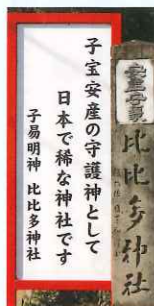


ここには明治15年の地図が揭示されており、大山街道と矢倉沢往還は、この地蔵の近くで交差し、大山方面と善波・足柄方面へと続いていました。

子宝安産の守護神 子易明神

大山街道沿いの比比多神社（子易明神）は、天平年間（729～749）に相模国の守護にあたったいた染屋太郎時忠（藤原鎌足の玄孫で関東諸国の総追捕使）が、国の安土と子宝を願い勸請したことに始まるといわれています。

子宝と安産の神様として有名で、拝殿の柱は、かつて安産のお守りとして参拝者が少しずつ削って持ち帰ったため細くなっている。今では、削らないようにとの注意書きがあり、削れないようになっています。



県老連 湘南Bブロック ゆめクラブ大学《講演》

6月25日(木)茅ヶ崎市役所分室で開催。

●タイトル「ちよつとした工夫で、快適で安全な生活を送るためのヒントを紹介します。」

講師

暮らしと人生の整えアドバイザー 佐藤夢美



講師の佐藤さんは、仕事を通し実際の体験に基づいて話をされていたので、説得力があり大変に役立つお話でした。年を重ねると、身体が思うように動けなくなると、すぐ手が届く様に床・テーブル・水まわり等が物であふれ、探し物は増え、掃除がしにくく、転んで事故故につながり、寝たきりになってしまふと言っても過言では無いとのこと。」「使わない物を整理するだけで心にゆとりができます。快適で安全な生活を送りましょう」とアドバイスをいただきました。



単位クラブ こんなことをしています

大住台楽生クラブ

キラキラ笑顔で七夕飾り

大住台楽生クラブでは、7月5日から11日にかけて、大住台・坂東公園の一角を活用し、初めて子供会（おおすみっ子クラブ中心）と共催で「七夕飾りイベント」を実施しました。



会員や子供たちは短冊に願い事を書いたり、手作りの飾りを笹につるすなど、笑顔で楽しく行い、「とても楽しかった」「心に残る思い出になった」等、好評でした。来年も是非との声が多くあり、検討していきたいと思っています。

公園に設置後は、近所の子供連れの人が「七夕飾り」の前で写真を撮ったり、お年寄りが「とても綺麗ですね」と話したり、大変好評でした。会員はもとより、大住台の地域活性化にも少しは寄与できたものと思います。



東高森団地桜寿会

53年前の入居者は600世帯。あれから高齢者が増え、空き家もかなり多くなってきました。

老人会が結成された当時は75世帯あった会員も、今は27世帯に減少。団地以外の入会者は9世帯。皆さんの協力で維持されています。

主な活動は、毎月の例会と有志によるカラオケサークル。最近始めたいきいき百歳体操。まもなくスライドストーンが届くので、自治会と協力して、大会を開催したいと思います。友愛チームも、中心者が頑張ってくれて、10人位が集まってきました。市老連の入湯会も、皆無だったのに、今では7、8人は通常です。市老連のスライドストーン大会にも、6人は出場できます。市老連一大イベント



タイ焼き



ボッチャ



カラオケ

(会長 中山浦子)

ントのカラオケ発表会には、5人も出場させていただき、カラオケサークルのメンバーは大変盛り上がりしました。自治会開催イベントには、タイ焼きの模擬店を出店し、協力に一役買っています。

老人会の果たす役割はりっぱな社会貢献です。これからも、皆がいきいきと健康で集い合える居場所づくりを目指して頑張っていきます。

クラブだより

北高森長寿会

会員増強とフレイル予防

設立57周年を迎える北高森長寿会では、今年も「会員増強」「フレイル予防」をテーマとして次のような活動を行っています。

①新規会員の獲得

近年減少傾向でしたが、昨年6月からの1年間で、5名退会したものの、14名が入会（募集チラシで1名、勧誘で13名）し、現在91名と増員することができました。今年も地域へのアピールと共に、勧誘を強化していきます。

②健康維持と生きがいづくり

運動・娯楽・教養・奉仕に積極

的に取り組んでいます。グラウンド・ゴルフやスライドストーン練習会で腕を磨き、市老連大会で上位を目指している他、卓球やいきいき百歳体操で健康



前高森長寿会との楽しい親睦ゲーム

を保つ努力を続けています。

③市老連行事での親睦交流

当会内および、他の老人クラブとの絆を深めるため、市老連主催の各種イベントには積極的に参加しています。特にバスハイクや入湯会には約20名が参加し、会員同士の交流を楽しんでいます。

④自治会と連携した地域活動
北高森納涼祭や体育祭、緑台小学校行事の「作って遊ぶ」や「餅つき」「広場清掃」などで地域活動に協力しています。

最後になりますが、今後も仲間を増やしながら、大いに語り、歌い、動いて、会員の健康維持・増進に努めていきます。

(会長 谷川廣幸)



大勢で盛り上がる入湯会

第1回 日帰りバスハイク 食べ放題・飲み放題



6月11日、参加者120名、バス4台で、御殿場・伊豆北部方面へのバスハイクに出かけました。

まずは三島スカイウォークでトイレ休憩、三嶋大社を参拝した後、本日のメインとなる御



殿場・時之栖（ときのすみか）のバイキングレストラン「麦畑」へ。鉄板コーナーの肉料理をはじめ、和食・中華、豊富なデザートなどの食べ放題と、大人気の地ビール5種類の飲み放題を堪能しました。

その後は、旧沼津御用邸の散策を挟んで、めんたいパーク伊豆と沼津のアメ横で買い物を楽しみ、帰路につきました。比較的近場の行程でトイレ休憩の心配も少なく、親睦を深める楽しい一日となりました。

第40回市老連 グラウンド・ゴルフ大会

雨のため一週間遅れて、第40回市老連グラウンド・ゴルフ大会（個人戦）が5月27日青空のもと、開催されました。140名あまりの参加をいただき、日頃の練習の成果を発揮し大変盛り上がりしました。とりわけ女性の活躍が目立つ大会になりました。

成績は以下のとおりです。

第1位 森 寿江
（北高森長寿会）

海老名チームも参戦

第16回市老連

スライドストーン大会

6月18日、総合運動公園体育館において第16回スライドストーン大会が開催され、海老名ゆめクラブチームも含め20チーム133名が熱戦を繰り広げました。

当日は、毎日新聞、読売新聞、タウンニュース社や市の広報戦略課からの取材、また、8月24日に体験会が予定されている中央



第2位 船山 弘
（板三長楽会）

第3位 西村公弘
（下糟屋遊友会）



公民館からも職員が視察に訪れるなど、関心の高さを物語っていました。今後、市内の全世代や他都市への普及が楽しみです。

成績は以下のとおりです。

優勝 あかね台
準優勝 板三長楽会
第3位 第3クラブ



今後の行事予定 令和8年

○10月7日（水）
第41回市老連
グラウンド・ゴルフ大会
予備日 10月8日（木）

○10月22日（木）
第17回市老連
スライドストーン大会

○10月28日（水）
第2回バスハイク
〈行先未定〉

○11月2日（月）
老人福祉大学②

○11月19日（木）
湘南ブロック
グラウンド・ゴルフ大会
予備日 11月26日（木）

予定は変更される場合がありますので、ご了承ください。

伊勢原市老連だより

令和8年（2026）秋季号
令和8年9月1日 通巻176号

発行 伊勢原市老人クラブ連合会
事務局 伊勢原市老人福祉センター 阿夫利荘内
電話 0463 (93) 1006 FAX 0463 (93) 0505
メール afurisou@wind.ocn.ne.jp
編集 伊勢原市老連だより 編集委員会
発行人 森 武